



## 2024年度千葉県女子サッカー選手権大会 (皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会千葉県予選) 決勝戦

2024年7月21日(日)16:00キックオフ 東総運動場  
ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18 2(2-0、0-1)1 流通経済大学附属柏高等学校  
R:彦坂 由樹子氏、AR1:澤井 朋子氏、AR2:平山 美幸氏、4th:染井 真美子氏(文中敬称略)

真夏の決戦千葉県女子サッカーナンバーワンを決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 澤井 朋子さん、彦坂 由樹子さん、染井 真美子さん、平山 美幸さん)



目次			
千葉県女子サッカー選手権大会決勝	1 ~ 4	審判資格更新 (サッカー・フットサル)	17-18
ジュニアワールドチャレンジ	4 ~ 6	競技規則のWEB化について	18-19
地域で頑張っています!	7 ~ 10	郡市協会だより	19-20
夏のユース研修	11 ~ 15	編集後記	21
昇級者紹介	15 ~ 17		

Q : 本日は暑い中お疲れ様でした。まずは、決勝を終えた感想を全員でお願いします。

彦坂 : 無事に終わることが出来て良かったです。

澤井 : 個人的に反省する点がありますが、楽しかったです。

平山 : 私個人の課題は沢山ありますが、大きなトラブルや負傷者もなく終わられて安心しています。

染井 : 久しぶりの皇后杯の審判でしたが、16時キックオフと近年の天候を考慮してか、選手にとっても優しい時間帯ですが、審判員にとっても有難い時間帯だと感じました。猛暑の中、熱中症や怪我人もなく、無事試合が終わってホッとしました。



Q : 彦坂さんは3回連続の主審でしたが前回との違いはありましたか？

また、今回の割当を受けて、試合までに心掛けた事はございますか？

彦坂 : 3回連続主審をさせて頂きとても光栄ですが、特に変わりはありません。

試合までに心掛けた事は、特別なことはしていませんが、なるべく昼間のトレーニングを増やしました。

Q : 澤井さんは2回連続のアシスタントレフェリーでしたが前回との違いはございましたか？

また、今回の割当を受けて、試合までに心掛けた事はございますか？

澤井 : 2年連続でこの大切な試合に参加させていただきとても感謝しております。昨年とは大きな違いはないと自分では思っていますが、毎試合、1つでもスキルアップできるよう集中し学びを心がけています。

また、試合までに心掛けた事は、今年は例年以上に暑いので、暑熱順化を心がけました。



Q : 平山さんは4回連続のアシスタントレフェリーでしたが前回との違いはございましたか？

また、今回の割当を受けて、試合までに心掛けた事はございますか？

平山 : 今回も参加させていただいたことは大変うれしく思っています。毎回、どの試合も全く違ってきます。なので毎回新鮮な気持ちで参加出来ますし、その時に課題として持ち帰ることも違ってきます。

大反省をして帰るといったことは毎回同じです。

試合までに心掛けた事は、選手の皆さんに負

けないようにまどとは、いきませんが、プレーをしっかりと確認できるよう走力も含め体力づくりを心掛けました。





Q : 染井さんは久しぶりの皇后杯第4の審判員でしたが前回との違いはありましたか？また、今回の割当を受けて、試合までに心掛けた事はございますか？

染井 : 決勝が、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18vs流通経済大学附属柏高等学校と若い世代、以前は大学生や一般ともう少しお姉様達だったと記憶しており、若い世代が力をつけて来ていると感じました。心掛けた事は、審判チームとして、少しでも主審、副審のサポートが出来る、滞りなく試合ができればいいなあ、と思っていました。

Q : 全員にお聞きします。近年夏の気温が非常に高くなっています。試合当日も気温が高かったですが、日頃どのように体力維持のためトレーニングをしていますか？

彦坂 : 10日前くらいから水分を多めに取り、前に答えたように昼間にトレーニングをするように、心掛けました。

澤井 : 平日は仕事から暑い中で過ごしているの、暑さに慣れるのは早かったと思います。暑い中でのウォーキングや週末は必ずどこかのカテゴリーで試合をさせていただき、体を動かしていました。毎月の船橋市サッカー協会審判委員会主催のレフェリートレーニングにも参加することで、体調を崩すことはありませんでした。

平山 : 今年、熱中症になってしまった私にあまり言えることはないのですが…。トレーニングもさることながら、何よりも前日までの疲れを残さずしっかり休むことに気をつけています。不規則な時間に働いているため、試合前に体調をリセットできるよう時間配分をしています。

染井 : 審判と選手の同時進行で、週2回のチーム練習が体力維持の場にもなっています。



Q : 最後に県内の女性レフェリーに伝えたい事をお願いします。

彦坂 : 審判活動は簡単ではありません。大変です。身体の準備、心、頭の準備。お母さん審判になると家庭との両立。それでも審判活動は楽しいです。仲間と会えて、色々な方々の準備で、審判が出来ています。自分自身若くはないのでしっかり整えて今後も審判活動をやっていきたいです。女性審判員が増える様、心がけて活動していきたいです。

澤井 : 女性ユースレフェリーも増えてきて嬉しく思っております。今回の試合のように女性審判員4人で活動するのもとても楽しいです。疑問に思ったことなども教えてくれる先輩方がいらっしゃるの、是非一緒に楽しんで活動しましょう。

平山 : 助言できるような立派な人間ではないのでおこがましいですが、大変なこともあると思いますが、一緒に続けていきたいと思いますとお伝えしたいです。

染井 : 審判も沢山の仲間がいて、審判スキルだけでなく、いろいろな年代、職業等関わると幅も広がり楽しいですよ、自分のペースでいいと思うので、仲間が増える事を願っています。



女性審判員方の、丁寧なレフェリングを見せて頂きました。みなさま、ありがとうございました。

## 決勝戦入場シーン(以下のリンクをクリックしてください)

[https://1drv.ms/v/s!Akh\\_D5CQSHm-gdR\\_rcV0keCuahkx\\_g?e=vSnh3i](https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gdR_rcV0keCuahkx_g?e=vSnh3i)

※2024年12月31日まで掲載

## 挨拶&コイントス

[https://1drv.ms/v/s!Akh\\_D5CQSHm-gdR-Va1k98IVrtZmTQ?e=CMwChV](https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gdR-Va1k98IVrtZmTQ?e=CMwChV)

※2024年12月31日まで掲載

## ～千葉で開催3年目となりました～



# U-12 ジュニアサッカー ワールドチャレンジ2024

2024年8月20日(火)～8月23日(金)

2022年から千葉で開催され3年目となった「U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ」ですが、本年は4日間で128試合、延べ388名の審判員が必要な大きな大会となりました。今年は日中時間帯の酷暑を避けるため、朝と夜の開催となり、今年も派遣審判員に加えて2種や3種の先生や学生、そしてJAPANサッカーカレッジの生徒さんにも協力していただき、それぞれの担当試合については指導者部が中心となって試合の振り返りを行い、充実した大会になりました。

多くの皆さまのご協力が無事に8月23日の決勝戦まで終えることができました。当日の様子を掲載します。







決勝戦の審判団(左から濱田氏、村上氏、黒澤氏、川勝氏)お疲れ様でした。







## 決勝戦入場シーン(以下のリンクをクリックしてください)

[https://1drv.ms/v/s!Akh\\_D5CQSHm-gd8D1e-0DBYau2eUkg?e=9kS5C7](https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gd8D1e-0DBYau2eUkg?e=9kS5C7)

※2024年12月31日まで掲載

## 3位決定戦の入場シーンも!

[https://1drv.ms/v/s!Akh\\_D5CQSHm-gd8E5pAFAd1AqEXEKg?e=23Lafz](https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gd8E5pAFAd1AqEXEKg?e=23Lafz)

※2024年12月31日まで掲載

## U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ 2024 について

詳細は以下のリンクをご覧ください。

<https://u12-juniorsoccer-wc.com/2024/>





## (特別版) 今日も地域で頑張っています!!

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～  
2024年8月20日(火)～23日(金)U-12ワールドチャレンジ2024  
～フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子アリーナ～



今年も「地域で頑張っています」の特別版として、8月に開催された「U-12ワールドチャレンジ」に審判として参加した審判員(ユース含む)にインタビューをしました。様々な試合で様々な審判員と一緒に試合を担当し、貴重な経験になった事と思います。今後も多くの審判員の皆さんの有意義な機会になると良いですね!

まずはユース編です。

- |                           |                                    |                  |
|---------------------------|------------------------------------|------------------|
| ① : 氏名(敬称略)               | ② : 審判歴                            | ③ : 審判になったきっかけは? |
| ④ : 審判活動で印象に残っていること       | ⑤ : 今回のU-12ワールドチャレンジに審判として参加して感想は? |                  |
| ⑥ : 審判をする前、選手の頃の審判のイメージは? | ⑦ : スバリ!選手と審判どちらが楽しい?その理由は?        |                  |
| ⑧ : 今後の目標とその決意をお願いします     |                                    |                  |

- ① : 小野 凌大(おの りょうた)
- ② : 資格は2022年に取り、本格的に活動し始めたのは2023年なので約1年ちょっとです!まだ初心者です!
- ③ : 中学生の時に練習試合で副審をしたときに「審判が楽しい!」と感じたからです!またバルサが来ているということで、この大会を見に来たときにレフェリーをやっている方々を見て「かっこいい!」と思ったからです!
- ④ : 練習試合で初めて主審を担当したときです。動き方や選手とのコミュニケーションの仕方が分からず、とりあえずがむしゃらにしていたのを覚えてます(笑)。
- ⑤ : たくさんの方と組ませていただいて、動き方や選手とのコミュニケーションの仕方などを学びました。また海外のチームの試合を担当させていただいたときは言語の壁があり、少し苦戦しました。
- ⑥ : 厳しいというイメージでした(笑)。選手とは距離がかなりあり、かなり堅い人なのだと思っていました。ただ、自分が審判となってたくさんの方のお話を聞いていると、選手を最優先していつも試合をしているんだな!と思いました。
- ⑦ : 今ですね!やはり審判をしているとたくさんの人に出会えるのと、試合を決定してしまうことがあるということに緊張感を持って試合をするのが楽しいです!
- ⑧ : 今後はもっと上級の審判になれるように、審判としての技術やあり方をたくさん学んでいきたいと考えています。またこれから社会人になるので、人としても成長していけるように日々頑張っていきたいと考えています!



- ① : 渡辺 香雛(わたなべ かな)
- ② : 昨年の夏から本格的に始めたので約1年です。
- ③ : Jリーグや代表戦で審判をする審判員の方々に憧れを抱いたのがきっかけです!
- ④ : 副審でオフサイドの旗をあげた時にピッチ内の選手やベンチの方々が「ナイスジャッジ!」と声をかけてくださった時です!達成感も感じますし、そのような場面は強く印象に残っています!
- ⑤ : 様々な審判員の方々と一緒に試合をさせて頂いて、試合の進め方や使用言語が異なる選手とのコミュニケーションの仕方など、普段学べないことが学べて楽しかったです!このような機会を設けてくださったこと感謝しています。
- ⑥ : 選手をしていた期間がかなり短いので、選手目線での審判へのイメージはかなり漠然としています。タッチジャッジの場面ではどうしてどちらボールなのか分かるのだろうか?と不思議に思っていました(笑)



- ⑦：どちらも違った魅力があるので選ぶのは難しいですが、どちらかと言えば審判の方が楽しいと思っています！  
 というのも先ほど言った通り選手としての経験が少なく、普段はマネージャーをしているので必然的にそうなる  
 しまうのですが(笑)、審判としてピッチに立つと、ピッチ外からは見えないサッカーの姿を見られるのですごく楽  
 しいです！
- ⑧：まずは受験勉強を精一杯頑張ります！大学では2級を取得し、将来的にはJリーグの舞台に立ちたいと思っ  
 ています！



続いて、今回新たに参加していただいた審判員です。

- ①：氏名(敬称略)      ②：審判歴      ③：審判になったきっかけは？  
 ④：審判活動で印象に残っていること      ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？

- ①：清水 雅之(しみず まさゆき)  
 ②：2022年1月からなので2年半ちょいです。  
 ③：小学生の息子のチーム(船橋の峰台FC)のパパコーチになり審判4級が  
 必須だったので取得しました。  
 3級取得は昨年2023年10月です。  
 ④：まだまだ審判活動は少ないですが、試合終了後に選手やチーム役員から「ありがとう！」とか、「ナイスジャッジ！」と言われる事です。試合中は選手  
 やベンチから厳しい言葉(笑)をいただく事もあります。試合後はチーム関  
 係者ふくめて判定などについて色々会話する時間はありがたい事です。  
 ⑤：前の回答と重なります。毎回では有りませんが、試合が終わった後に審  
 判団とチーム関係者で試合内容や判定についてお互いが共通認識を持っ  
 て、どうすれば選手が怪我なく安全安心にプレー出来るか？などをざっくば  
 らんに会話することがあります。その時間は審判として、『サッカーファミリー  
 の一員なのだ！審判ってよいものだな！』って私は思います。あとは、先  
 輩審判やインストラクターの方に指導いただいて、それを実践してポジシ  
 ョニングが良くなって判定が安定した時はものすごくやり甲斐を感じます。



## 今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2024年7月21日(日)

千葉県女子サッカー選手権大会

(皇后杯 JFA 第46回全日本女子サッカー選手権大会 千葉県予選3位決定戦)

～東総運動場～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。  
 今回は皇后杯千葉県予選3位決定戦を担当した皆さまにインタビューをしました。

- ①：氏名(敬称略)      ②：審判歴      ③：審判になったきっかけは？  
 ④：審判活動で印象に残っていること      ⑤：これだから辞められない審判の魅力とは？



- ① : 佐々木 大輔(ささき たいすけ) \*この字で「たいすけ」と読む変わった名前です。  
 ② : 大学生時代に3級を取得しましたが、あえなく失効しました。  
 復帰してから先日記念コインをいただいたので、10(+4)年だと思えます。

③ : 大学時代は、先輩から「チームのオンリーワンになれ！」と言われ、「審判ならチームメイトに負けないぞ」と思って取得しました。現役を退いてからは、市原市で息子達がサッカーを始めたためにチーム帯同での審判活動を再開し、その後はすっかりはまってしまい、今では息子達を放って自分が審判活動に行ってしまう悪い父です(笑)。

④ : 3級時代に、3種の最後の大会である選手権でレッドカードの人間違いをしたことです。正に「家本さん状態」になり、関係ない選手を退場させてしまい、試合結果にも大いに影響を与えてしまいました。関係する皆様に大変な迷惑をかけてしまい、本当に申し訳なかったです。

⑤ : 大失敗を犯したことにより責任の重さを痛感し、これまで以上にサッカーや審判活動に真摯に向き合うようになり、その後、幸いにも2級を取得することができました。

今でも老若男女、カテゴリーに関係なく、真剣勝負をしている選手達に負けない気持ちでグラウンドを走っています。「こんなに青春しているおじさんは滅多にいないぞ！」と、今の自分を置いていただいている素晴らしい環境に大変感謝しています。

いろいろな方々と出会い、お世話になり、汗を流し、時には言い争い、落ち込み、和解し、学び、鍛えてもらいながら成長させていただき、私の人生を本当に豊かにしてくれてとても幸せです。これまで出会った全てのサッカーファミリーの皆さん、本当にありがとうございます。本当に楽しくて辞められません！



- ① : 中山 明秀(なかやま あきひで)  
 ② : 約10年です。  
 ③ : 息子が所属していた少年サッカー団の帯同審判が始めたきっかけです。  
 ④ : 4級取り立てで、技術も経験もない時に担当した試合が物凄く荒れ試合になってしまった事が未だに一番印象に残っています…。  
 ⑤ : どんなに一生懸命やっても必ず反省点が見つかる所ですかね。前の試合の反省点をクリアしても新たな反省…。100点満点が取れない所がひとつの魅力です(笑)。  
 もうひとつは、キックオフの瞬間の緊張感と試合終了のホイッスルを吹いた時のやりきった感が辞められない魅力かもしれません。

- ⑥ : 小賀坂 吉昭(こがさか よしあき)  
 ⑦ : 4級取得は2013年で、3級昇級は2016年です。  
 ⑧ : 多くの方と同じ様に、保護者コーチになり必要に迫られて(笑)今は卒団しましたが、息子のVarzea千葉FCと娘のLC成田に帯同しつつ審判活動を継続しております。  
 ⑨ : 初の公式戦で、ペナルティーエリア内で守備側競技者のハンドでPKとしましたが、手の位置やボールとの距離等、今でも正しい判定だったか振り返る事があります。やはり、初めての公式戦で緊張もしていたので、当時の自分に焦らず冷静にと言っておきたいです。  
 ⑩ : 息子と娘は高校でもサッカーを続けていますが、2人とも資格を持っており、一緒にチームを組んで審判対応するのが、最近の楽しみになっています。子供達も昇級を目指しているので、負けないように頑張る刺激になっています。もうプレーでは勝てないので(笑)





- ① : 池田 朋代(いけだ ともよ)
- ② : 約17年くらい。
- ③ : 息子がサッカーチームに入りお手伝いの審判員がいなくて協力するために審判取得をしました。
- ④ : 2011年に日本代表女子サッカーがワールドカップで優勝した後、チームに戻りなでしこリーグでプレイする姿を審判員として(4thですが)近くで見られたこと。
- ⑤ : グラウンドへ行くと仲間に会えてサッカーの話ができること。



**「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！**

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張っているレフェリーを取材に行きます。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。  
メールアドレス:cfarc.somu@gmail.com





# 2024 年度夏のユース研修会を開催しました(育成部)

例年になく猛暑の中、将来を有望視されるユース審判員を中心に、各種別協力のもと「夏のユース研修」を実施しました。8月11日(日)と18日(日)は大学生と社会人チームの練習試合をお借りして、8月17日(土)はU-12千葉県トレセンの練習試合をお借りして、高校生、大学生のユース審判員を対象に研修を開催しました。

今回は、その中の一部を紹介します。

## ☆8月17日(土) U-12 千葉県トレセン練習試合 @千葉県フットボールセンター



U-12トレーニングマッチを使って研修



当日参加の研修生の皆さまと育成部スタッフ

プラティカルの様子(2024年12月31日まで掲載)

[https://1drv.ms/v/s!Akh\\_D5CQSHm-gd8vQWVCpszJeJwUoQ?e=N4n1wa](https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gd8vQWVCpszJeJwUoQ?e=N4n1wa)

[https://1drv.ms/v/s!Akh\\_D5CQSHm-gd8wQIWfxeNwxnHB7A?e=eYAwuq](https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gd8wQIWfxeNwxnHB7A?e=eYAwuq)



## 研修参加者のコメント

### 濱田 和孝(はまだ かずたか)

今回は8月20日から開催される「U-12 ワールドチャレンジ 2024」に向けて、小学生の試合を使っての研修でした。研修を通して、今出来ているところ、出来ていないところがはっきりしました。

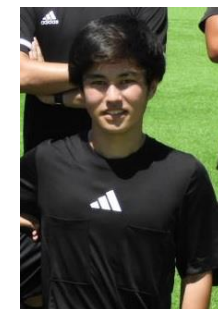
今回、小中学生2名が初めて研修に参加されました。僕自身、中学2年生になる頃くらいからユース研修に参加させて頂いていますが、研修に参加することで、先輩方のアドバイスなどで知らないことを知ることが出来たり、技術の向上を図れてきました。そしてU-12 全国選手権にも行くことができました。

最近ではなかなか高校生以下の審判員が増えてきていないのが現状です。もし審判に興味があるよという方は先輩方は皆優しいのでぜひ参加してほしいと思います。また、周りに興味ある方がいらっしゃいましたらお声がけしていただければありがたいです。



### 高沼 響(たかぬま ひびき)

今回は小学生の11人制サッカーの試合とオフサイドのプラクティカルトレーニングをさせていただきました。今回の研修を通して、自分の改善したいところをはっきりさせることができました。私は一昨年の秋からユース研修に参加して、多くのユース審判の仲間やインストラクターの方々に会うことができました。自分も初めは怖い人が多いのかな！?と不安でしたが、優しい人が多いので、審判をやってみたい人は気軽に参加してみてください。



### 末次 空斗(すえつぐ くと)

今回のユース研修会では、U-12 千葉県トレセンの練習試合を使って研修をさせていただきました。とても強度が高く、大変勉強になりました。また、他のユース審判員の動きを見て学ぶことも多くあり、とても刺激を受けました。この収穫を県派遣や日々の活動に活かしていきたいと思います。

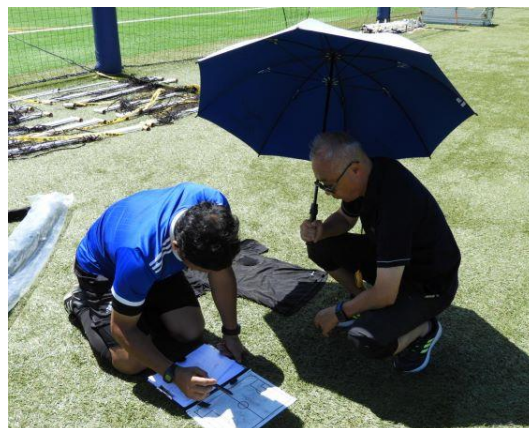
私は、このユース研修会に高校生の時から参加させて頂いていますが最初はとても緊張していました。しかし、同じユース審判員の先輩や講師の方々がとても優しく、すぐに馴染むことが出来ました。千葉県のユース審判員が増えて欲しいと思いますので、ぜひ興味があれば参加していただきたいです。



### 兵頭 悠太郎(ひょうどう ゆうたろう)

今回の研修で、指導者の方から頂いたテーマに加えて自分でチャレンジしたい課題を持ち試合に臨みました。その結果、自分の強みと弱みを再確認でき、今後弱みに対してどのようなことをしなければならぬのか、また強みをどう活かすかを考えるきっかけとなりました。

今回は小学生が2名参加してくれました。初めて教える側にまわり教えることの難しさや新たな発見もあり、とても学びの多い研修となりました。



振り返りの様子



☆8月18日(日)1種(社会人 Vs.大学生)練習試合 @千葉商科大学グラウンド





## 研修参加者のコメント

### 松浦 聖英(まつうら しょうえい)

8月18日のユース研修に参加させて頂いた大学3年の松浦聖英です。1年ほど前からユース研修に参加させて頂いています。

研修に参加する中で指導者の皆様にアドバイスを頂いたり、仲間と交流しながら普段の割当の試合ではできないことにチャレンジでき、その中で新しい発見や課題点を見つけることができる場であると感じています。私自身、研修に参加してから試合を重ねるごとに成長を感じられ、新たな発見や楽しさを見つけることができました。ユース審判員の皆さんと研修でお会いできることを楽しみにしています！



### 川村 空生(かわむら くら)

今回の研修では社会人の練習試合をお借りして研修したということもあり、非常に強度の高い試合で2級チャレンジに向けて良かった点、改善点を多く発見できとても有意義なものになりました。

約5年前になりますが、初めてユース研修に参加したのもこの商科大学さんの練習試合でした。自分自身でも「その頃から成長したなあ！」と感じる反面、まだまだ2級審判になるには至らない点があることを痛感しています。だからこそ、審判はやりがいを感じられるものであり、一生続けていきたいと思えるものであるのだと思っています。

少しでも審判に興味があるという方はぜひ研修会に参加してみてください！新たな仲間との出会い、審判という新たな世界が広がると思います！



### 松井 誉啓(まつい やすひろ)

今回は社会人と大学生の練習試合を使った試合でした。試合の中で、予測しながら常に動きを変えることで判定で見えるもの、見えないものがはっきりしたので、良い機会になりました。また、同世代の仲間の試合を見ることで刺激をもらえたりするので、審判をしてみたいなど少しでも思ってもらえたら気軽に来てくれたらと思います。



## ～ユース研修会について～

現在、(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会 育成部では、U-18 審判員とU-22 審判員にむけて研修会を開催しています。

主な活動は、様々な種別でのトレーニングマッチや実際の大会を利用させていただきながら審判としての動き方や判定について学び、最近ではzoomを利用して競技規則の勉強会を開催し、理解を深めるだけでなく、2級、3級昇級審査に向けて勉強会を行って昇級をサポートしています。

### 《昨年度からの主な活動》

- 6月 千葉商科大学 TM
- 7月 柏レイソルフエスティバル U-14/さつきカップ U-12
- 8月 U-12トレセン TM
- 9月 アントラーズカップ(派遣)/昇級審査勉強会(zoom)
- 11月 2024年度 JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会千葉県大会
- 12月 2024年度 JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会(派遣)
- 1月 ローズカップ U-14/レイソルカップ U-11
- 2月 公立高校大会/船橋招待 U14
- 3月 U11プレミアリーグ千葉/ヨネックスカップ U-15/JA全農杯関東大会(派遣)/昇級審査勉強会(zoom)
- 4月 ワールドフットボールフェスティバル U-12

同世代で切磋琢磨しながら審判活動を通じてサッカーを楽しんでいます。少しでも審判活動に興味があるユース審判員は下記までご連絡下さい。

育成部 山崎久 宛て Mail:[take7677@yahoo.co.jp](mailto:take7677@yahoo.co.jp)

(審判委員会・育成部:山崎・清水)



《昨年度からの主な活動の様子》



千葉県フットボールセンターにて座学



U11 プレミアリーグ千葉



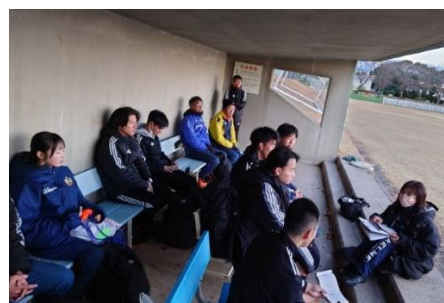
千葉県 U12 トレセンTM



全日本 U-12 千葉県予選



トレセン大会(鹿島にて)



柏レイソル CUP 振り返りの様子



ワールドフットボールフェスティバル



ローズカップ U-14 決勝戦



ワールドチャレンジ 2024



サッカー・フットサル昇級者のご紹介～

(敬称略)

サッカー2級  
澤井 朋子

サッカー3級  
4種委員会主催(23名)

秋元 俊和	有賀 孝明	江口 哲	加藤木 丈英	加辺 伸一	上村 公一
小松 駿太郎	近藤 大洋	齋藤 俊	椎川 洸	下長野 有平	鈴木 庸介
高橋 隼	滝沢 瞬	歳田 隆一	中井 啓泰	中村 葉治	名雪 聡
西澤 昌広	平井 篤	藤倉 崇史	藤田 正昭	水谷 崇	



## サッカー2級昇級者よりコメント

澤井 朋子(さわい ともこ)

この度、2級審判員に昇級させていただきました澤井朋子です。昇級にあたり千葉県サッカー協会審判員委員会の皆様、女子部の皆様をはじめ、船橋市サッカー協会審判委員会の皆様にご指導、サポートいただき感謝申し上げます。

サッカー未経験でしたが、息子、娘がサッカーを始めた時に、近くで見たい！同じ話題で話したい！という気持ちだけで審判を始めました。当時は女性審判員もあまりいなかったのが、珍しがられました。中学校の帯同もさせていただいていますが、選手たちに「澤井さん！」と声をかけてもらえることが増えとても嬉しいです。お母さん審判も頑張っている姿を見て若い世代も審判員に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

昇級を目指したきっかけはもっと上のカテゴリーに関わってみたいと思ったことと、どこまでできるかチャレンジしてみたかったからです。学ぶことが多く、年齢、性別も異なる中で同じことを共有できる審判員はとても魅力的です。

今後の目標は試合の流れを読み、2級審判員として魅力のあるレフェリーになること。謙虚な心を忘れずに一層努力していきたいと思えます。試合会場でご一緒になった際は、よろしくお願いいたします！



写真中央が澤井さん

## サッカー3級昇級者よりコメント

上村 公一(かみむら こういち)

私が審判活動を始めたきっかけは、息子がお世話になっていたチームで帯同審判をお願いされたのが始まりで、かれこれ15年ほど審判活動を続けています。

昇級を目指した動機は、同じチームで長年一緒に活動してきた人が先に昇級したので強く勧められて決心しました。競技規則は理解しているつもりでしたが、実際に市川市審判委員会作成の想定問題をいただき記述すると全く書けずかなり焦りました。そのおかげで本気で勉強することができました。フィットネステストは普段から審判活動を積極的に行っている人であれば問題なく合格すると思えます。

これから3級昇級を考えている方にお伝えしたいのですが、なるべく早く若いうちに、頭が柔らかいうちに挑戦したほうが良いと思えます。私はレフェリーニュースの原稿依頼を、恥ずかしながら今回の合格者中で最年長という事で選ばれたようです。(今年55歳になりますが苦勞しましたので。)

最後になりますが、市川市審判委員会には大変お世話になりました。ありがとうございました。



小松 駿太郎(こまつ しゅんたろう)

まず、3級昇級に向けて試合の機会や、沢山のアドバイスを下さった方々ありがとうございました。無事合格できほっとすると共に、これからも頑張っていこうと思っています。

私が審判活動を始めたのは、今年の4月でした。今は法政大学の2年生で、習志野市の鷺沼FCから東邦中高にて10年間プレイヤーをしていました。そして、何らかの形でサッカーに関わり続けたいと思い、審判の活動を始めました。活動の中でも、ユース研修会がとても充実していて、毎回沢山の学びを得ることが出来ることで、モチベーションに繋がるとともに、昇級していこう！と強く思いました。プレイヤーの経験を活かし、知識力や判定力、走力だけでなくゲーム展開の予測力などを武器に、「笛の少ないストレスフリーなゲーム」を心がけ、これからも2級へ向け頑張っていきます！よろしくお願いいたします



## 下長野 有平(しもながの ゆうへい)

私が審判活動を始めたのは、小学生の子供が少年団でサッカーを始めたのがきっかけです。チームのスタッフの一員として関わるようになり、自然と審判をやる機会が増えました。

3級審判を目指したのは、地元の審判部会に携わったこと、同じチームの3級審判員コーチから「せっかく審判やるなら子供達のためにきちんとルールを理解しよう!」とアドバイス頂いたことがきっかけです。受験を決めてからは2ヶ月ほどルールブックを読み込みました。

昇級後は引き続き子供達のために審判活動に積極的に関わっていきたく思います。笛を吹くたびに未だに毎試合反省点だらけですので、地道に経験を積み上げて少しでも子供達が良い環境で試合ができるように取り組みたいと思います



# おめでとうございます! 今後のご活躍を期待いたします!!

## ～2024年度の審判資格更新について～

今年度も更新講習会(集合講習や実技講習)の開催が少なくなっており、3級・4級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、「JFAラーニング」を利用した資格更新を推奨致しています。

2級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、決まり次第KICKOFFメール等で案内します。

### 〈JFAラーニング〉

JFA KICKOFFにログインしていただき、

- 1、画面左側の「審判」をクリック。
- 2、「講習会・研修会」をクリック。→「講習会・研修会申込み」をクリック。
- 3、「更新講習会」を選択。
- 4、「検索」をクリックし「JFAラーニング」を選択して下さい。



JFAラーニングについては下記、URLを参照してください。

<http://els.jfa.or.jp/info/referee/invitation/html/>

なお、「JFAラーニング」の受講は10月から可能です。

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。

※更新講習会(集合講習や実技講習)や「JFAラーニング」の受講期限徒過により更新講習を受けられない場合は、2024年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

# 2024年度更新講習会お知らせ(フットサル)

- ・ F3、F4 審判員の更新講習は JFA ラーニングでの更新をお願いいたします。
- ・ F2 級審判員及び 3 級インストラクターの更新講習会は決まり次第連絡いたします。

## 帯同審判員対象フォローアップ研修会

Web開催を計画中です。決まり次第、担当審判員に連絡いたします。

## カテゴリー審判員対象研修会

Web開催を計画中です。決まり次第、担当審判員に連絡いたします

**※2025年度新規取得講習会を含めて、詳細は決まり次第Webの方にアップいたします。**

## ～競技規則のWeb化について～

サッカー競技規則2024/25については、これまでのように冊子で皆さまに配布するのではなく、Web版のみとなりました。以下のURLをクリックするとJFAのページからWeb版の競技規則を閲覧できますのでご確認ください。

<https://jfa.jp/laws/> (JFAのホームページ⇒関わる⇒審判⇒競技規則)



2024/25

クリックすると各条項目を閲覧できます。  
※説明映像なども見る事ができます。

▶ [Web版](#)


サッカー競技規則の各条項(第1条～第17条)を、Webページ形式で確認できます。

※一部条文において理解促進を目的とした説明映像クリップをつけています。

条文でリンクになっている箇所をクリックすることで、該当の説明映像を確認できます。

クリックするとPDF版の競技規則が表示され  
PCや携帯などの端末に保存する事ができます。



 サッカー競技規則2024/25(ファイルサイズ:11.4MByte)



なお、これまで通りの冊子版が欲しい方は、JFA ストアから購入する事ができます。

JFA KICKOFFにログインしていただき、「JFA STORE」をクリックすると「一覧」から選択し購入できます。

↓

KICKOFFにログインした画面



[https://official-store.jfa.jp/goods\\_detail.php?id=1321](https://official-store.jfa.jp/goods_detail.php?id=1321)

○●○●● 郡市協会だより ○●○●● 各郡市よりホットな情報を直接お届けします。

## 初心者実技研修会を開催しました

(2024.6.29～30 佐倉市岩名球技場)

佐倉市サッカー協会審判委員会(菅原 英雄)

佐倉市サッカー協会では、例年4級審判員新規取得講習会を岩名運動公園で開催しています。今年は6月15日(日)に32名の参加で実施しました。今年度は、新規取得された方を中心に6月29日と30日に岩名運動公園球技場で、佐倉市立東中学校など近隣中学生のトレーニングマッチを利用して、「初心者実技研修会」を初めて開催しました。



29日は、新規取得された小学生1名と中学生3名が参加してくれました。今回は、佐倉市と四街道市在住の2級・3級審判員が指導者となり、試合前のコイントスからキックオフの進め方等、初めて審判をするということで、一緒にフィールドに入り行って行きました。指導してくれた3級審判員には、市内在住の大学生で3級審判員の濱



田さんと松井さんも後輩のためにと駆けつけてくれました。今回は一人一人が主審と副審、第4の審判員を2回ずつと行いましたが、みんな1回目より2回目の方が慣れてスムーズに試合運営を行っていました。

終わってからの感想では、「始めて審判をしたが、やり方が分かってよかった。」「やってみて、今まで知らなかったことが分かってよかった。」「やってみて難しいと思ったけど、楽しかった」という声を聞きました。今後も審判をやりたいという気持ちを強くしてくれたようです。



30日は、少年チームの指導をされている社会人の方が2名参加してくださいました。お二人とも既に経験がある方で、お一人は失効してしまったため取り直した方と、もう一人は4種の県大会での審判を行う上での審査を受けたいという方でした。ここでは、お二人に60分ゲームを主審と副審を1試合ずつ行いました。この日は、佐倉市サッカー協会理事長の吉野幸雄さん(2級インストラクター)も参加して



下さり、一緒に副審をして頂いた後にフィードバックにも加わって頂きました。

試合後の感想では、「久しぶりにやってみて、規則が変わっていて戸惑ったが何とかできて安心した」、「普段小学生のゲームをしているので、中学生の60分ゲームは大変であったが、よい経験になった」と充実感を感じて頂きました。

佐倉市サッカー協会では、今後も審判員の育成と活動の充実に向けた事業を展開していきたいと考えています。来年度も引き続きこのような研修会をより良い形で開催していきたいと思っております。

参加して下さった皆さんが今後の審判活動を楽しんで頂けるように願い、また指導に当たって下さった審判員の皆さんに感謝申し上げます。





## 広告主さま募集しています


- 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
  - 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
  - この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局  
(TEL 043-310-4888)にご連絡をお願いいたします。



### 編集後記

10月です。一気に寒くなってきましたね。油断して試合観戦をしていたら、雨と風で寒すぎて、震えながら観ることになりました。帰宅するなりベンチコートを取り出しましたが、流石に早すぎるでしょうか…トーナメントが増えてくるこの時期は、試合観戦の機会も多くなると思います。暖かくして楽しくサッカー観戦や試合前後を迎えましょう！ (Fucchie)

### レフェリーニュース編集員

高野 祐介	E-mail : <a href="mailto:cfarc.somu@gmail.com">cfarc.somu@gmail.com</a> 
長谷川 鉄哉	
淵上 祥太	
金子 秀之	
公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会	<a href="https://chiba-fa.gr.jp/13judge/">https://chiba-fa.gr.jp/13judge/</a> 